

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会  
発行人 白滝 末紀  
東京都千代田区西區三丁目1番1号  
電話 2426 363

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なうべき教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。

## 関修委・近修委

# 新幹線の増発要望

## 決定、微妙な段階

### 混雑時・つなぎ列車で難航



関東からの修学旅行第1陣、栃木県の中学生（4月11日東京駅で）

五十一年度の修学旅行は国鉄新幹線を増発してほしいと、関東地区中学校修学旅行委員会(佐藤武男会長)と近畿修学旅行委員会(粕本典男委員長)が揃って強く要望、早急の回答を求めているが、国鉄側の回答は遅れ、本月末か五月上旬になりそうだ。関修委の希望は、つなぎ列車がラッシュ時にかかること、近修委はダイヤ編成上なお検討を要することから決定は微妙な段階にある。しかし両修学委としては、あくまで要求を強く方針をたて、国鉄側も希望にこたえるよう懸命な作業を続けたい。

## 国鉄の回答遅れる

関修委としては生徒数の激増に、関東地区中学校修学旅行委員会(佐藤武男会長)と近畿修学旅行委員会(粕本典男委員長)が揃って強く要望、早急の回答を求めているが、国鉄側の回答は遅れ、本月末か五月上旬になりそうだ。関修委の希望は、つなぎ列車がラッシュ時にかかること、近修委はダイヤ編成上なお検討を要することから決定は微妙な段階にある。しかし両修学委としては、あくまで要求を強く方針をたて、国鉄側も希望にこたえるよう懸命な作業を続けたい。

## 強力に要請 修学委側

### 関修委

関修委と近修委が行った国鉄への陳情書のあらましは次の通り。

【往】ひかり六〇八四A(京都) 五月七日(八)六三三(日)計七五日間。  
【復】ひかり六〇八四A(京都) 五月八日(九)六三三(日)計七五日間。  
【往】ひかり六〇八四A(京都) 五月九日(一〇)六三三(日)計七五日間。  
【復】ひかり六〇八四A(京都) 五月十日(一一)六三三(日)計七五日間。

### 近修委

来年度(五十一年度)の修学旅行につきましては、本委員会として、本年三月以降中国ならびに九州方面への新幹線の増発に、当該地区を近畿各域の中学校の修学旅行地として開発しましたが、昨年十一月現在で予備調査をいたしましたところ、九万人強の希望集計を得ました。つきましては、国鉄当局からの指

## 車内にあふれる若さ

### 修学旅行シーズン迎う

新学期を迎えた各中学校では、いっせいに修学旅行シーズン。まず関東地区では四月十日、栃木県鹿沼市の鹿沼西校、真淵市の真淵中など六校九百九十九名が午前十時五分発の「こまどり号」で、春季は七月十一日まで、秋季は九月十七日から同二十五日まで計五百七十九校十一万四千六百三十七名が関西方面へ旅立。

## 九州へ初名乗り

【関西支店】国鉄新幹線の博多乗りをあげる。開業、五月から六月まで大阪府下と神戸市内の中学三三校約一万(五五八名)が第一陣、人気のあつた阿蘇山を組み入

【往】ひかり(東京発九・三〇) 一〇・〇〇までの間、六月一日から同日まで(三三)日計三三回。  
【復】ひかり四三八号(京都発) 一三・五九(東京発一六・五〇) 六月三日から七月二日まで(三二)日計三二回。A B合計計五日間。

## 風紋

「一身の上をみくじをひけば秋の風」これは道後温泉の郊外石手寺の境内にある正岡子規の句碑にある。松山市民友書の子規遺稿「散策集」によると、明治二十八年九月二十日午後、子規、大師堂の縁側に腰をかけた思ひ八其側に落ち散りし白紙句と聞くに当寺の御みくじ、二十四番あり、中に「病事は長引く命にはまわりなし」と書きたる句を我身にひしひしとあたりたる不思議なり、と原文があつて、前の句と「山陰や寺吹き響る秋の風」の句がかかれそのおぼろ、寺を出て道後の方に道を取り壊してつたかかれています。「散策集」といふ本は、子規全集にも収録されていなく貴重文獻であるといふので、全修版四国修学旅行団の講師高橋大蔵氏によると、正岡子規は、明治二十八年四月、記者として日清戦争に従軍したが五月金州からの帰途船中で発病、八月瀧川松山に帰郷し、瀧川山中学の英語教師として在任した言志と同居し、病気の事後を養つて五月二十日十九日松山をたつて東京へ帰り、再び故山の風物に接するものがなかつた。瀧川の日は近づく、俳句を指導してきた松岡会員を誘い、前後五回松山旅行を試み、その旅行句集を「折半紙に筆写して一冊に綴り「散策集」と題したもので、これを「散策集」として、少年時代からの友人近藤鶴が保管し、子規遺稿集のまとまり、内外に出る。このころ、三十三歳、うらに埋れていたのだと云ふ。この「散策集」は、この意味で子規研究の上、貴重資料であり、付録の子規断片地図は、近代俳句をひらいた文の往時を身近に感ずるべく、子規の親を偲ぶものとして、行へる色に秋の気配を感じるとした意の縁を、いま旅人たちは信じて去っていく。

日本の旅 世界の旅  
電算機がお手伝いする  
ひまわり窓口  
近畿日本ツーリスト

【関西支店】国鉄新幹線の博多乗りをあげる。開業、五月から六月まで大阪府下と神戸市内の中学三三校約一万(五五八名)が第一陣、人気のあつた阿蘇山を組み入

思い出の修学旅行  
印象的な、瀬戸内海の船旅

●阪神一別府航路(毎日4便)  
●阪神一小豆島・高松航路(毎日4便)ほか  
●神戸一日向(宮崎)フェリー(隔日1便)

お問合せは  
大阪府北区宗是町1(06)441-4100/東京都中央区八重洲1-9-9(03)281-2621  
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あつた案内所へ

いらっしゃいませ  
びわ湖国定公園  
近江路の旅へ

収容 600名様  
浴場 150名様  
設備 全館冷暖房  
防災 諸設備完備  
駐車場 バス20台

政府登録  
国際観光旅館 びわ湖リゾートホテル  
大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321



